第42回国際生物学賞受賞記念講演会・シンポジウム

Commemorative Symposium for the 42nd International Prize for Biology

共生、生物の秘めたる力

Symbiosis, the Hidden Power of Life

2026
12月19日(土)
14:00〜16:35
一般向け受賞記念講演会
(同時通訳付き、オンライン同時配信)

2026
12月20日(日)
9:30〜17:00
研究者向け英語シンポジウム



第42回国際生物学賞受賞者
シャロン ルーゲル ロング博士



参加無料
事前申込制
12月5日
申込締め切り

下記より
お申し込みください

会場:奈良県コンベンションセンター・天平ホール

https://ipbsymposium2026.com

国際生物学賞は、昭和天皇の御在位60年と長年にわたる生物学の御研究を記念するとともに、本賞の発展に寄与されている上皇陛下の長年にわたる魚類分類学の御研究を記念し、生物学の奨励を目的とした賞です。本賞は昭和60年に創設され、以後毎年1回、生物学の受賞分野を選定の上、当該分野の研究において優れた業績を挙げ、世界の学術の進歩に大きな貢献をした研究者を選考して授賞しています。

第42回国際生物学賞の授賞対象分野に「共生(種間相互作用)の生物学」が選定され、審査委員会による選考の結果、空気中の窒素の利用を可能にする根粒菌とマメ科植物の根粒共生において、共生パートナーが相互を認識する仕組みを解明したスタンフォード大学(アメリカ合衆国)のシャロン・ルーゲル・ロング博士が受賞しました。受賞を記念して、12月19日には、ロング博士の受賞講演と関連分野の研究者による最先端研究を紹介する受賞記念講演会(同時通訳付き、オンライン同時配信)を、12月20日には、研究者向けに、共生の研究分野で顕著な成果を挙げている国内外の研究者が一堂に会して高度な議論を行う国際シンポジウムを開催します。

主催:国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学　独立行政法人 日本学術振興会 JSPS

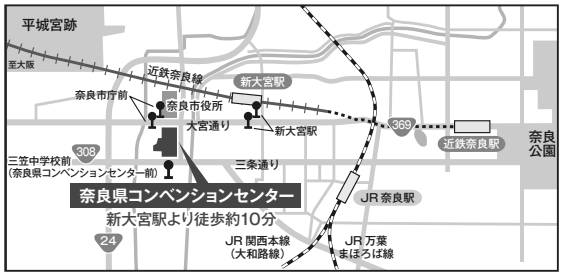
12月19日(土)　受賞記念講演会　一般向け(英語―日本語同時通訳付き、オンライン同時配信)

13:00	受付開始　Doors open
14:00-14:15	開会挨拶(奈良先端科学技術大学院大学 塩﨑 一裕 学長) Opening remarks by Dr. Kazuhiro Shiozaki (NAIST president) 受賞者紹介(農研機構・今泉 - 安楽 温子 博士) Introduction of the 42nd IPB recipient by Dr. Haruko Imaizumi-Anraku (NARO)
14:15-15:15	受賞者講演 第42回国際生物学賞受賞者　シャロン・ルーゲル・ロング 博士(スタンフォード大学, USA) The 42nd IPB recipient, Dr. Sharon R. Long (Stanford Univ, USA) 共生:植物と細菌はどうやって一緒にはたらくか Symbiosis: how plants and bacteria work together
15:15-15:30	質疑応答　Discussion
15:30-16:05	関連講演　ミリアム シャルパンティエ 博士 (ジョンイネスセンター, UK) Lecture by Dr. Myriam Charpentier (John Innes Centre, UK) 細胞内共生をつなぐ核内カルシウムのシグナル伝達:陸上植物に学ぶ Endosymbiosis-mediated nuclear calcium signalling: Lessons from land plants
16:05-16:30	関連講演　西條 雄介 博士(奈良先端科学技術大学院大学) Lecture by Dr. Yusuke Saijo (NAIST, Japan) 水田から見えてきた植物と細菌の新しい共生 New plant-bacterial associations emerging from rice paddies
16:30-16:35	閉会挨拶　Closing remarks

12月20日(日)　International symposium -Symbiosis and beyond: diversity and evolution of inter-species communication-

Doors open at 9:00

9:30-9:35	Opening remarks by Satoko Yoshida (NAIST)
9:35-10:05	Yuichiro Kashiyama (Fukui Univ Tech, Japan) Molecular integration of xenogeneic photosynthetic machinery in the kleptoplastic protist *Rapaza viridis*
10:05-10:35	Kyoko Hagino (Kochi Univ, Japan) Discovery of a nitrogen-fixing organelle in the marine phytoplankton *Braarudosphaera bigelowii.*
10:35-10:50	Coffee break
10:50-11:30	Joseph Parker (Caltech, USA) Retracing the evolutionary steps towards symbiosis
11:30-12:00	Ryuichi Koga (AIST, Japan) Experimental observation and reconstruction of insect symbiont evolution
12:00-12:10	Group photo
12:10-13:40	Lunch
13:40-14:10	Ko Mochizuki (Univ Tokyo, Japan) Diversity and evolution of plant-fly pollination interactions
14:10-14:50	Caroline Gutjahr (MPI of Molecular Plant Physiology, Germany) Regulation of arbuscular mycorrhiza symbiosis
14:50-15:20	Takuya Suzaki (Univ Tsukuba, Japan) Evolution of a nodulation program: from nitrate signaling to symbiotic nitrogen fixation
15:20-15:40	Coffee break
15:40-16:20	Sharon R Long (42nd IPB recipient, Stanford Univ, USA) Many paths to study symbiosis
16:20-16:50	Pannel discussion -Symbiosis and beyond-
16:50-17:00	Closing remarks



奈良県
コンベンションセンター・
天平ホール

奈良県奈良市三条大路一丁目691-1

最寄駅(近鉄・新大宮駅)より徒歩約10分

留意事項

- 講演内容を許可なく録画・録音し、二次使用することを禁じます。
- 本シンポジウムは、ご登録者のみの参加とし、いかなる場合もライブ配信用のURL・パスワードを第三者に教えることを禁じます。
- オンライン配信については、参加者から講演に関する質問を受け付けません。また、個々の機器、回線により不具合が出た場合、主催者は保証などをしませんのであらかじめご了承ください。
- 広報のため、本シンポジウムの写真や映像を使用する可能性があることをあらかじめご了承ください。
- 本シンポジウム後に、アンケートメールを送付いたしますので、ご協力お願いします。